

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成21年9月(2009年) No.525

## 第13回大阪アマチュア映像祭は10月25日(土) OMCからは関、前田、森口氏の作品を出品

恒例の大阪アマチュア映像祭は、大阪市立中央図書館との共催で今年も行われますが、今年は例年(11月)より早く10月第4日曜25日と決まりました。今や関西でのアマチュア映像界では最大のイベントとして定着しているこの映像祭は、毎回中央図書館の会場ほど満員の観客動員をしており今年も大勢の方々が来て頂けるものと祈念しております。

大阪アマチュア映像連盟の構成クラブも少し変わりました。住吉区ビデオクラブが不参加となり、あらたに「大阪ビデオくんクラブ」が入会されました。住吉区ビデオクラブは毎年共同作品で楽しみでしたが残念です。

各クラブには15分程度の上映時間割り当てがありますが、10分位の作品1本だけとか、今年は出品辞退するというクラブもあって、その穴埋めにOVCとOMCが当たりました。そうした事情もふまえて、今年のOMCからの出品は下の3作品となりました。

- |            |     |        |        |
|------------|-----|--------|--------|
| 1. 壁画の想い出  | HDV | 前田茂夫さん | 14分28秒 |
| 2. ベルン     | HDV | 関剛さん   | 9分07秒  |
| 3. 尾白川名水紀行 | W   | 森口吉正さん | 9分34秒  |

なお、別のクラブからの出品ですが、OMC会員、元OMC会員の出品は有村さん(OVC)の「冬の花園」、増池さん(ビデオくんクラブ)の「梅田寸描」、鉄具さん(映像北大阪)の「神々の棲むまち」があります。

5分以内の作品が10本もあり、全体で21本の多くに達しているのが、OMCフェスティバルの15本と違うところです。

短編をどう纏められているか、よそのクラブ作品を見るのも勉強になると思いますので、どうぞ中央図書館へ足を運んでやって下さい。

★OMC映像フェスティバル(10月4日)の観客動員をよろしくお願いいたします。プログラムを同封しますが更に必要な方は申し出て下さい。

### 9月例会のお知らせ

9月例会は第4土曜日26日18時より、大阪市立難波学習センター(JRなんば駅上OCATビル4階)にて開催します。大勢の会員さんの参加をお待ちしています。

## ☆奥宏さんからの便り

「ご病気で例会ご欠席中の奥会員から、暑中見舞いと共に次のような便りがありました。」暑さ厳しい中いかゞお過ごしでしょうか。ビデオ映像に関し種々ご指導を賜り感謝しています。さて、小生体調が優れず関係の皆さんにご迷惑をかけていますが、残念ながら、今期でOMCを退会させていただきます。機会があれば関係の皆様へ、宜しくお伝えください。貴クラブのご隆盛を祈念しています。残暑の砌、ご自愛を祈っております。平成21年盛夏。奥 宏”

奥宏さんにはごゆっくり養生されて体調がよいときには顔出しして頂きます様、お元気になられることを祈念しております。

## ☆東京アマチュア映像祭参加記(合原)

さる8月29日(土)に行われた第43回東京アマチュア映像祭に行つて来ました。東京アマチュア映像連盟は関東地区25クラブがあり、各クラブ10分の持ち時間で作品を発表、今年は25作品のうち10本がハイビジョンでした。上映順はくじで決めるのでSDとHDVが入り乱れて上映するので、上映担当者は苦労されたと思います。内容はクラブの代表作品だけにまずまずのレベル以上でよかったですように思います。

この東京アマチュア映像連盟は、全国からビデオ作品を募集してコンテストを開催しています。名のある全国コンテストが減っているなかで、ビデオファンにとっては励みになり、又腕だめしの場となっていて有難い存在だと思います。レベルは可成り上で賞に入るのは難しいですが、運よく賞に入れば大変名誉になります。今年は映像北大阪の堀皓二会長(OVC会員でもある)が入賞されています。入賞作はいずれも立派で感動しました。朝10時から夕方6時過ぎまでの上映ご苦労様でした。

## 8月例会のレポート

8月の例会は22日の午後1時より何時もの例会場で開催しました。司会、安居さん、書記、有村さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼照明係を宮崎さん、紙本さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、紙本、河合、蟹江、黒田、合原、進藤、関、玉井、田中、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、宮井、宮崎、森口、森下、森田、安居、山本、吉岡、(敬称略)の28人と作品本数16本でした。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：有村博)

### 1) 梅田寸描(2)(W)

増池 茂さん 6分10秒

8月10日にソニーのビデオカメラCX520Vを新たに購入されて4日後、Hi-8時代に三脚なしで撮ったことのある梅田のヘップファイブで同じく三脚なしのテスト撮影をされました。

結果は、今や三脚もスタビライザーも必要のない程安定した画面でした。首から下げた小さなカメラの液晶画面を覗き乍ら、若い女性の大勢居る店内を縦横無尽に撮影しておられます。活気のある映像が撮れていました。AVCHD記録を内蔵メモリーに収録し、アナログで取り出してリニア編集をされたそうです。SD記録も出来る様なので、敢えてパソコン編集に拘らなくても、と考え込んでしまいました。貴重な映像を有り難うございました。

### 2) 夏越の祓(W)

森口吉正さん 10分43秒

京都の下鴨神社で立秋の前夜(8月6日)に行われた矢取神事を取材されました。罪や穢れを人型の紙の人形に託し、御手洗池に50本の矢を立て、その紙人形を池に流す瞬間に白装束、白の鉢巻きの若い氏子たちが矢を奪い合う勇壮なお祭りです。人々の無病息災を願うての行事とか。夜の撮影で、三脚禁止の所だそうです。ご苦労が偲ばれます。それでもお寺さんの様に拝観料を取って三脚禁止よりはまだマシかも知れませんね。珍しい神事を初めて見せて頂きました。

### 3) よさこい2008(HDV)

江村一郎さん 7分00秒

高知が故郷の江村さん、去年の夏も里帰りしてこの踊りを撮ってこられました。顔面汗で一杯の元気な若者たちが激しい踊りを楽しむ姿が映し出されます。それを楽し

む観客の所作などが適度に入り飽きることがありません。それにしても激しい動きの踊り子の顔のアップがよく撮れるものですね。やがて夜も更けて音色が消え、祭の終わりがもの悲しく映しだされて終わります。楽しく見応えのある作品でした。

#### 4) 余部・盆踊り (HDV)

前田茂夫さん 7分55秒

前田さんの余部通いももう何回になるのでしょうか。今回は小さな田舎町での夏の行事を発表されました。勿論踊りの会場の彼方には鉄橋上を走る列車の姿が何回も出てきます。やがて盆踊りが始まります。この様な映像は日頃、地元の人達とのコネがないとなかなか撮れないと思います。何か日本の原風景を見せてもらった様に思いました。BGMもいつものように自作の曲を自演されているようでした。

#### 5) 太郎坊宮 (HDV)

紙本 勝さん 9分30秒

去る5月31日撮影会の八日市大風揚げを見ての帰りに立ち寄って同じ東近江市の阿賀神社で撮影された作品だそうです。標高360mの山の中にあるここでは展望台、絵馬堂、各神社、男女岩の詳細などが克明に描かれ本堂までの石段が何と740段もあるそうです。遙かに遠い石段を登る紙本さんが映ります。引き返してシャッターを止めてまた登る。大変な撮影のようです。しかもこの映像を撮るのに2時間程で済ませたそうです。全くお元気で、その早業には参りました。見事な作品でした。

#### 6) ウォーキング (HDV)

宮井 健さん 4分00秒

ご自宅の近くの公園や、久米田池、岸和田城周回路など大勢の中高年の人達が歩いています。みんな健康維持が目的のようです。そしてその殆どが左回りに歩いて居ます。何故だろう？疑問に思いながら、悪い事をしているのではない、と人々の逆を歩き出す宮井さん。やがてヘッドホーンをつけて音楽プレイヤーを愉しみ乍ら歩きます。何事にも興味を持つ事が健康に良いのと脳の活性化にも繋がるようです。楽しい作品でした。

#### 7) 布引の滝 (HDV)

井上勝彦さん 8分14秒

新幹線新神戸駅のそばから遊歩道を400m程溪流に沿って入り布引の滝まで行かれて撮影されました。定番のスタビライザーによる移動撮影もスムーズで各所にある石碑には古人の歌詞が刻まれていて、それぞれの紹介がテロップされます。夏場にはもってこいの涼味満点の映像でした。作品の前後に奥さんの適切なナレーションが入り判りやすく仕上がっていました。欲を言えば滝音の現場音をもう少し強調されたら、より一層涼味が増したのではないのでしょうか。

#### 8) 田植えの頃 (HDV)

有村 博さん 9分13秒

飛鳥の石舞台古墳から南東へ吉野の上市へ通じる奥飛鳥を訪ねてみました。そこには見事な棚田が広がり、集落には昔から伝わる風俗が残っていました。観光客もあまり行かない所で私も初めてでしたので、2度訪れて撮影を楽しみました。都会に住む私達があまりお目にかかれない最近の田植えなども珍しく思えました。

#### 9) 陀々堂の鬼はしり (HDV)

河合源七郎さん 5分45秒

奈良県五條市の念仏寺でお正月の月に行われる行事を取材されました。本堂の經典の転読から護摩焚きに、そして鬼の登場と続きます。堂内をアップで撮っておられてさも中に入っているの撮影のよう見えしました。何とも愛嬌のある顔の鬼ですが、顔が大きすぎて動きがとれないらしく題名通りには走れないようです。珍しい貴重な映像を見せて頂きました。

#### 10) あの時の想いを乗せて (改訂版)

(HDV) 藤原純三さん 10分00秒

今年1月の例会で発表された作品をフェスティバル出品用に少し作り直しての再登場となりました。これは藤原さんのビデオと違ったもう一つの顔、鉄道模型マニアとしての自叙伝といった作品で、前回も私が講評を書かせて頂きましたが、今回新たに少年に運転手として登場して貰い、お話の説得力が増し、より親近感が増したように感じました。何れにしても見事な作品で、充分に楽しませて頂きました。

### 11) えびす万灯籠 (HDV)

吉岡貞夫さん 10分00秒

吉岡さんの占有特許とも言うべき西宮神社で7月20日に行われたお祭りの記録です。御神火点灯の儀式が行われ、大勢の人々の手によって境内33基の石灯籠を始め、5千個のカップ蝋燭、奉納提灯、子供たちの絵で作られたえびす行燈、えびすねぶた、鯛ねぶた等々に火が灯されて幻想的な雰囲気醸し出されます。これだけの数の物に蝋燭の火を灯すのは大変な事だろうと想像します。やがて女人舞樂の奉納が行われ、しめやかで豪華な夏祭りの風景が幕を閉じます。貴重な記録を見せて頂きました。

### 12) 外国に翻弄された島 (HDV)

山本正夢さん 6分40秒

今回は娘さんと一緒に日本の南、太平洋の孤島グアムに行ってきました。島の風景と共にその歴史が語られます。紀元前にフィリッピンからチャモロ族がやってきて、その後スペインが領有し、アメリカの帰属となり、前大戦で日本が統治、終戦後独立化との住民投票でアメリカ領となり今日に至っているそうです。経済はアメリカ軍と、その9割を数える日本からの観光客でまかなわれているようです。その間に原住民は殆ど混血化されたとの事です。単なる観光ビデオでなく、深く考えさせられる作品になっていました。

### 13) 梶本さんちの藤まつり (HDV)

上田吉巳さん 5分10秒

泉南市の和泉砂川駅の近くに元小学校の先生だった梶本昌弘さんの邸宅があり、今年も見事な藤の花が咲き、毎年3万人の見物人で賑わうそうです。藤の花を育てこよなく愛した先生は昨年暮れに亡くなられたそうです。そして今年4月25日の藤まつりには教え子だった奥野てる子さんが先生との約束で作った「幻想藤の花絵巻」を歌う姿がありました。お聞きしますと女性の解説はパソコンのナレーションソフトで作られたそうです。

### 14) 山登りミニSL列車 (HDV)

関 剛さん 10分00秒

スイス旅行に行かれた関さん、今回はブ

リエンツ、ロートホルン鉄道の旅です。標高566mの始発駅から2244mの終着駅まで標高差1678mの山登りをするSLです。レールの真ん中にもう1本の頑丈な歯車を噛むレールがあり、車体下の歯車がこれを噛んで登るアプト式鉄道でもう110年も前からここを走っているそうです。折悪しく天気が悪くなって左からアイガー、メンヒ、ユングフラウのスイスの誇る山並みが見れなかったのが残念です。珍しく音楽もなく、現場音とテロップだけの作品でした。途中、車外から走るSLが撮影されていて良かったと思いました。ツアーではなかなかここまで撮れませんものね。楽しい作品でした。

### 15) ひまわりの里 (HDV)

進藤信男さん 8分43秒

兵庫県佐用町といえばつい先日大きな水害のあった所です。お聞きしますとこれは7月末頃の撮影だそうで、その後もこの辺りには被害はなかったそうです。千種川の清流が紹介され、漆野の段、15万本、米田集落20万本のひまわりが見事です。いずれも休耕田を利用して作られたそうですが、こんなに広い田畑がお休みになっている事に思いを馳せてしまいました。これで日本の農業は大丈夫なんでしょうか。日本人は外国に頼らないと食べてゆけなくなるのでしょうか。余計な事を考えてしまいましたが、お見事なひまわり賛歌でした。

### 16) 八日市大風まつり (HDV)

蟹江利一さん 10分30秒

5月30、31日に行われたOMCの撮影会で作られた作品で、コンテストに間に合わず今回のお披露目となりました。詳細にわたって撮影され、よく調べられてナレーションされていますのでなかなか良かったように思います。ただ、判じ物の「共生」のくだりは私達現場にいた人達には理解出来ませんが、大風の正面がアップで出てきませんので、一般のこの作品を初めて見る人達には判りづらいのではないかと、思いました。

以上で上映を終わり、いつものように喫茶組と居酒屋組に分かれて2次会を楽しみました。